

第二地銀協地銀の平成 23 年度決算の概要について

〔平成 24 年 6 月 14 日〕
一般社団法人 第二地方銀行協会

当協会では、会員行の平成 23 年度決算の概要を別添のとおり取りまとめました。

以 上

【本件に関するお問合せ先】

企画部：中嶋

： 03 - 3262 - 2472

平成 23 年度決算の概要について

〔平成 24 年 6 月 14 日
一般社団法人 第二地方銀行協会〕

会員行の平成 23 年度決算（単体）の概要は以下のとおり。

（注）計数は平成 24 年 3 月末時点の会員行 42 行ベース（特記ある場合を除く）

1 . 損益概況（業務純益：3,455億円、経常利益：2,071億円、当期純利益：1,118億円）

平成 23 年度決算の業務純益は、一般貸倒引当金の戻入額が増加したものの、資金利益や国債等債券関係益が減益となったため、3,455 億円と前年度比 36 億円、1.0%の若干の減益となった。

経常利益は、不良債権処理額の減少等を主因に 2,071 億円と同 +514 億円、+33.0%の大幅な増益となった。

当期純利益は、法人税率変更に伴う繰延税金資産の取崩しにより法人税等調整額が増加したものの、経常利益の大幅な増益に加え、前年度の東日本大震災による特別損失の剥落の影響もあり、1,118 億円と前年度比 +367 億円、+48.9%の増益となった。

2 . 業務純益の状況

(1) 資金利益（9,314 億円、前年度比 158 億円、 1.7%）

資金利益は、前年度比 158 億円、 1.7%減益の 9,314 億円となった。

この内訳をみると、預貸金収支は、貸出金残高（平残）は増加したものの、預貸金粗利鞘の縮小により、同 158 億円、 2.0%減少して 7,768 億円となった。

また、有価証券利息配当金は、1,626 億円と横ばい（同 +2 億円、+0.1%）となった。

(2) 役務取引等利益（679 億円、前年度比 +27 億円、 +4.1%）

役務取引等利益は、保険窓販業務手数料の増加等を主因に、前年度比 +27 億円、+4.1%増益の 679 億円となった。

(3) その他業務利益（513 億円、前年度比 67 億円、 11.6%）

その他業務利益は、国債等債券売却益の減少を主因に、前年度比 67 億円、11.6%減益の 513 億円となった。

(4) 経費（7,306 億円、前年度比 +25 億円、 +0.3%）

経費は、7,306 億円と前年度比 +25 億円、+0.3%の若干の増加となった。

3. 不良債権処理の状況

不良債権処理額は、705 億円と前年度比 590 億円、 45.6%の大幅な減少となった。

一方、金融再生法開示債権(破産更生等債権、危険債権、要管理債権)は、破産更生等債権が倒産件数の減少等を主因に減少したものの、危険債権および要管理債権は増加したため、前年度末比+585 億円、+3.5%増加して1兆7,176 億円となり、開示債権比率も同+0.07%ポイント上昇して3.80%となった。

4. 経常利益および当期純利益の状況

経常利益は、業務純益が若干の減益となったものの、不良債権処理額の減少等を主因に、2,071 億円と前年度比+514 億円、+33.0%の大幅な増益となった。

当期純利益は、法人税率変更に伴う繰延税金資産の取崩しにより法人税等調整額が増加したものの、経常利益の大幅な増益に加え、前年度の東日本大震災による特別損失の剥落の影響もあり、1,118 億円と同+367 億円、+48.9%の増益となった。

5. 単体自己資本比率[国内基準 41 行](自己資本比率:10.41%、Tier 比率:8.28%)

単体自己資本比率は、リスクアセットが若干増加したものの、自己資本額が当期純利益の増加や増資等により増加したことから、前年度末比+0.10%ポイント上昇し、10.41%となった。

また、Tier 比率は、同+0.30%ポイント上昇し、8.28%となった。

6. 預金および貸出金(末残)

(1) 預金(59兆6,704 億円)

預金(末残)は、前年度末比+2兆663 億円、+3.6%増加して59兆6,704 億円となった。預金者別にみると、要求払預金を中心に一般法人預金および個人預金とも増加した。

(2) 貸出金(44兆6,644 億円)

貸出金(末残)は、前年度末比+7,878 億円、+1.8%増加して44兆6,644 億円となった。

以上

(計数資料)

1. 損益の内訳

(単位：億円、%)

	平成23年度	前年度比 増減額	前年度比 増減率
業務純益	3,455	36	1.0
業務粗利益	10,507	198	1.8
資金利益	9,314	158	1.7
預貸金収支	7,768	158	2.0
有価証券利息配当金	1,626	2	0.1
役務取引等利益	679	27	4.1
その他業務利益	513	67	11.6
国債等債券関係損益	359	65	15.3
経費()	7,306	25	0.3
一般貸倒引当金繰入額()	254	187	-
臨時損益	1,383	550	-
個別貸倒引当金繰入額()	860	129	13.0
株式等関係損益	363	6	-
経常利益	2,071	514	33.0
特別損益	110	105	-
税引前当期純利益	1,961	619	46.1
法人税、住民税及び事業税()	258	38	17.3
法人税等調整額()	584	214	57.8
当期純利益	1,118	367	48.9

(注) 1. 計数は、平成24年3月末現在の全会員行42行ベースである(特記ある場合を除く。以降同様)。

2. 預貸金収支 = (貸付金利息 - 金融機関貸付金利息 + 手形割引料) - 預金利息

3. 国債等債券関係損益 = 国債等債券売却益 + 国債等債券償還益 - 国債等債券売却損 - 国債等債券償還損 - 国債等債券償却

4. 株式等関係損益 = 株式等売却益 - 株式等売却損 - 株式等償却

2. 経営諸指標

(単位：%、%ポイント)

	平成23年度	前年度比
貸出金利回 (A)	1.97	0.11
有価証券利回	1.06	0.07
資金運用利回 (B)	1.67	0.12
預金債券等原価 (C)	1.37	0.07
預金債券等利回	0.13	0.04
預金利回	0.13	0.04
譲渡性預金利回	0.15	0.03
経費率	1.23	0.03
人件費率	0.62	0.02
物件費率	0.55	0.01
税金率	0.06	0.00
資金調達利回	0.16	0.04
資金調達原価 (D)	1.37	0.08
預貸金利鞘 (A-C)	0.60	0.04
総資金利鞘 (B-D)	0.30	0.04
預貸率 (未残)	73.14	1.67
" (平残)	73.33	1.24
預証率 (未残)	25.66	1.05
" (平残)	25.80	1.01
コア業純ROA	0.44	0.04
コア業純ROE	9.64	0.80
コア業務粗利益OHR	71.99	1.17

(注) 1. コア業純ROA = (業務純益+一般貸倒引当金繰入額-国債等債券関係損益) / (総資産平残-支払承諾見返平残) × 100

2. コア業純ROE = (業務純益+一般貸倒引当金繰入額-国債等債券関係損益) / (純資産平残-新株予約権平残) × 100

3. コア業務粗利益OHR = 経費 / (業務粗利益-国債等債券関係損益) × 100

3. 経費の内訳

(単位：億円、%)

	平成23年度	前年度比 増減額	前年度比 増減率
経費	7,306	25	0.3
人件費	3,685	1	0.0
給与・報酬	2,288	22	1.0
賞与	544	10	1.9
物件費	3,254	13	0.4

4 . 不良債権処理額

(単位：億円、%、%ポイント)

	平成23年度	前年度比 増減額/変化幅	前年度比 増減率
貸倒引当金繰入額	380	495	56.6
貸出金償却	228	35	13.3
その他不良債権処理額	94	53	36.1
合計 (A)	705	590	45.6

与信費用比率 (X)	0.16	0.14	
預貸金利鞘 (Y)	0.60	0.04	
(参考)預貸金利鞘 - 与信費用比率 (Y-X)	0.44	0.10	

(注) 1 . 貸倒引当金繰入額 = 一般貸倒引当金繰入額 + 個別貸倒引当金繰入額 + 特定海外債権引当勘定繰入額 - 臨時収益 (平成 22 年度は特別利益) 計上の取崩超過額

2 . 与信費用比率 = 不良債権処理額 / 貸出金 (平残) × 100

5 . 臨時損益の内訳

(単位：億円)

	平成23年度	前年度比 増減額
臨時損益	1,383	550
個別貸倒引当金繰入額	860	129
貸出金償却	228	35
株式等関係損益	363	6
株式等売買損益	138	74
株式等償却	225	80
貸倒引当金戻入益	225	...
償却債権取立益	74	...

(注) 貸倒引当金戻入益および償却債権取立益は、平成 22 年度は特別利益に計上していたが、平成 23 年度は臨時収益に計上している。

6. 金融再生法開示債権

(単位：億円、%、%ポイント)

	平成23年度末	前年度末比	
		増減額/変化幅	増減率
破産更生等債権	4,417	803	15.4
危険債権	10,773	1,075	11.1
要管理債権	1,984	313	18.7
開示債権 (A)	17,176	585	3.5
正常債権	434,572	7,089	1.7
総与信 (B)	451,748	7,674	1.7
金融再生法開示債権比率 (A/B)	3.80	0.07	

7. リスク管理債権

(単位：億円、%、%ポイント)

	平成23年度末	前年度末比	
		増減額/変化幅	増減率
破綻先債権	1,235	502	28.9
延滞債権	13,798	809	6.2
3カ月以上延滞債権	158	19	13.7
貸出条件緩和債権	1,826	295	19.3
合計 (A)	17,019	621	3.8
貸出金 (B)	446,644	7,878	1.8
リスク管理債権比率 (A/B)	3.81	0.08	
貸倒引当金 (C)	6,132	593	8.8
特定債務者支援引当金 (D)	4	1	20.0
引当率 [(C+D)/A]	36.05	4.99	

8 . 単体自己資本比率 (国内基準 : 41 行ベース) (単位 : 億円、%、%ポイント)

		平成23年度末	
		前年度末比 増減額/変化幅	前年度末比 増減率
Tier (A)	25,890	1,122	4.5
Tier (B)	6,725	566	7.8
うち負債性資本調達手段等	4,323	360	7.7
自己資本総額 (C) = (A+B)	32,616	556	1.7
控除項目 (D)	52	9	14.8
自己資本額 (E) = (C-D)	32,563	564	1.8
リスク・アセット合計 (F)	312,566	2,424	0.8
うち資産(オン・バランス)項目	291,477	3,020	1.0
自己資本比率 (E/F)	10.41	0.10	
Tier 比率 (A/F)	8.28	0.30	

9 . 主要勘定の内訳 (未残)

(単位 : 億円、%)

	平成23年度末	前年度末比 増減額	前年度末比 増減率
貸出金	446,644	7,878	1.8
有価証券	155,927	12,165	8.5
国債	77,530	6,306	8.9
地方債	15,224	2,042	15.5
社債	37,421	3,814	11.3
株式	7,327	367	4.8
外国証券	12,521	348	2.9
その他の証券	5,901	81	1.4
商品有価証券	133	7	5.0
金銭の信託	322	76	19.1
コールローン	17,007	6,415	60.6
運用勘定計	627,996	24,188	4.0
繰延税金資産	2,945	781	21.0
資産 計	656,391	25,600	4.1
預金	596,704	20,663	3.6
譲渡性預金	10,873	2,934	37.0
コールマネー	462	5	1.1
調達勘定計	618,168	24,424	4.1
繰延税金負債	49	19	63.3
負債 計	626,576	23,739	3.9
純資産 計	29,814	1,861	6.7
負債及び純資産 計	656,391	25,600	4.1

以上